

第 11 回第 25 期日本学術会議高齢者の健康分科会 議事録

日時：2023 年 7 月 29 日土曜日 12:00-13:00 (Zoom)

出席：住居委員長、須田副委員長、飯島委員、伊香賀委員、太田委員、田高委員、

玉腰委員、野口委員、森山委員、安村委員、吉野委員

オブザーバー：小松浩子（健康・生活科学委員会委員長）、古元重和（厚生労働

省老健局老人保健課長）

（13 名出席）

欠席：荒井委員、秋下委員

1. 第 10 回高齢者の健康分科会 議事録の承認

2. 日本学術会議公開シンポジウムの打ち合わせ

- ・シンポジウム（案）概要について住居委員長より pptx 資料使用し説明

- ・公開シンポジウム(幹事会申請書案)について住居委員長より pptx 資料使用

し説明

- ・総合司会は田高委員が担当

- ・開会の辞は住居委員長が担当し、開会趣旨を述べる

- ・座長について

予定の荒井委員欠席のため、

< I 話題提供 >      < II シンポジウム > 1) の座長は安村委員が担当

< II シンポジウム > 2)    3)    4) の座長は住居委員長が担当

- ・参加者から資料 PDF 要望あるため、話題提供中にチャットにアップし、

必要に応じてダウンロードで対応

- ・シンポジストおよび話題提供者自己紹介

飯島 医学系から、3年間のコロナを振り返り、生活不活発やコロナフレイル

について4年目でどこまで戻せるかという主旨で話していく

森山 看護が広島の自治体と組んだフレイル対策を中心に述べる

須田 フレイルに対する高齢者サービス内容が介護保険を枠組みとして反

映されていくと考えるが、フレイルに対応するためのしくみの必要

について体制ができていないのではないかという点も含め述べる

伊香賀 建築工学系の役割を述べる

住宅環境が寒すぎることによってコロナに対して脆弱になり、将来

次の感染症がやってくる可能性もふまえ、住居側でどうやって高齢者の健康を支えるかについて述べる

古元 話題提供ということで基本的なデータを示す。

来年診療・介護報酬同時改定の点もふまえた話をする

・分科会出席者の自己紹介

野口委員、太田委員、小松氏、住居委員長、安村委員、伊香賀委員、玉腰委員、須田副委員長、飯島委員、田高委員、森山委員、野口委員

3. 令和5年度高齢者の健康分科会の活動方針案

4. 第26期高齢者の健康分科会の将来構想案に向けて

・分野別委員会に附置される分科会等のあり方の見直しについて住居委員長より資料提示（幹事会 令和5年7月）

・分科会等の課題に対する今後の対応方針について

1) 分科会のあり方

○原則として分科会等は期ごとに設置する。

○分科会の設置の申請に、審査・承認を経る

## 2) 委員長の属性について

○委員会及び分科会の委員長は会員のみ

○2期を超えて務めない。

## 3) 1分科会等あたりの委員数に上限を設ける

## 4) 分科会等活動の会員・連携会員へのアナウンス

・小松氏より補足説明

(委員長が会員のみという点に困難性があげられており幹事会に持ち帰り  
になっている)

・各分野別委員会の設置方針は9月末頃までに決定する予定

・分科会は常設ではなく申請により継続

## 5. その他

・前回の議事録ではサブタイトルの一部が「新たなステージとなっているが  
周知されているポスターと日本学術会議のHPでは「次なるステージ」と  
なっているため、「次なるステージ」で統一する

(議事録案は2023年7月31日にメール審議した。)